

コスモ石油グループの事業

コスモ石油グループは、エネルギーの安定供給を社会に対する責任ととらえ、安全を最優先に、原油の自主開発から、石油製品の製造・輸送・販売にいたるまで、上流から下流までをカバーした石油事業を展開しています。また、次世代のニーズを見据えた新技術の開発や事業展開を推進しています。

石油事業の流れ



原油調達・開発

コスモ石油グループは、主に中東諸国から原油を輸入しています。また、産油国と協力して原油開発を積極的に進めています。現在UAE(アラブ首長国連邦)とカタルで自主開発生産をしており、全輸入量に占める自主開発原油の比率は約5%となっています。



海上輸送

原油は、遠く離れた中東諸国から日本まで、約20日かけて輸送されます。万一の海洋事故にそなえ、タンカーの構造はダブルハル(二重殻構造)となっています。また、タンカーの共同運航や大型化により、原油輸送の効率化にも取り組んでいます。



石油精製

コスモ石油グループの各製油所および工場では「安全操業」を基本に、エネルギーの効率的な利用、産業廃棄物の削減、大気汚染防止、水質汚濁防止などの周辺環境に配慮したさまざまな取り組みを進めながら、石油製品を生産しています。

LPガス

ガソリン・ナフサ

灯油・ジェット燃料油

軽油

重油

アスファルト

潤滑油

備蓄

緊急時にも安定してエネルギーを供給できるよう、民間備蓄として70日分以上の石油を備蓄しています。また、コスモ石油は国家石油備蓄事業にも白島石油備蓄(株)の中核会社として参画しています。



白島石油備蓄(株)／備蓄基地

研究開発

環境に配慮した石油製品の開発や製造技術の高度化に取り組むとともに、新しいエネルギーや環境技術の開発、さらには新規事業の創出をめざしています。



中央研究所

石油化学

衣類やペット樹脂など生活用品の原料となるキシレンをはじめとする石油化学製品を製造しています。石油化学製品は、中国をはじめとするアジア地域で今後も需要の拡大が見込まれています。

☑ KPMGあずさサステナビリティ(株)の保証対象の内容については「保証対象マーク」で表示しています。



目次

トップコミットメント…………… 1

【重要報告】
千葉製油所の火災・爆発事故について…………… 3

安全レベル向上への取り組み…………… 5

社会や暮らしを支える石油の安定供給への対応…………… 6

コスモ石油グループの事業…………… 7

コスモ石油グループの経営理念・
企業行動指針とCSR経営…………… 9

企業行動指針1
お客様の信頼と満足に応えます…………… 11

企業行動指針2
安全で事故のない企業をめざします…………… 13

企業行動指針3
人を大切にします…………… 15

企業行動指針4
地球環境を大切にします…………… 17

企業行動指針5
社会とのコミュニケーションを大切にします…………… 19

企業行動指針6
誠実な企業であり続けます…………… 21

コスモ石油グループ データ編…………… 24



国内輸送

製油所で生産された石油製品は、内航タンカーやタンクローリー、鉄道タンク車、パイプラインなどを使って、全国のSSや油槽所、需要家の皆様の元に送られます。輸送手段は、コストや距離、地域性などを考慮し、もともと安全で効率的なものを選択します。



国内販売

大口需要家への直売や特約店への卸売、SSにおける小売を行っています。SSでは地域特性を重視したマーケティングを実施するとともに、「ココロも満タンに」宣言」活動を展開し、お客様のカーライフをサポートしています。

新規事業・その他事業

環境配慮型事業として、風力発電事業を行っているほか、石油以外の新規事業分野として、ALA(5-アミノレブリン酸)事業に注力しています。また、石油関連施設の工事・リース・保険などの事業も手がけています。



波崎ウインドファーム

海外販売

石油製品の需要は日本国内では減少傾向にありますが、世界的には増加しており、今後も堅調に推移すると予想されます。コスモ石油グループでは、需要が見込まれ、かつ高品質な製品が高く評価される北米、南米、オセアニア地域を中心に海外販売を展開しています。